

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(1/8)

■目次 ～フィンランド～

1. 基本調査
 - ① 基礎情報
 - ② デジタルに関する組織及び施策等の概要
2. 重点調査分野(11テーマ)

11重点分野リサーチ状況

サービスデザイン/UIUX	- デジタルデバインド	○ 共同利用・共同調達	-
データ利活用	○ 官民共創	○ デジタル予算	-
行政サービスのデジタル化	★ 新技術 (AI、メタバース)	○ スマートシティ	○
サイバーセキュリティ	- 人材育成・確保	-	

★・・・都が特にベンチマークすべき事例あり、○・・・情報あり、－・・・情報なし

1-①基礎情報

国名	フィンランド
面積 (km)	338,000
人口 (万人)	551
首都	ヘルシンキ
主要言語	フィンランド語, スウェーデン語
宗教	キリスト教 (福音ルーテル派, 正教会)
GDP (10億米ドル)	281 ※IMF 22年10月時点
ランキング (電子政府)	2位 (国連2022年)、13位 (早稲田2022年)

元首	サウリ・ニーニスト大統領
議会	一院制
政府	サンナ・マリン首相(社会民主党)
政体	共和制
主要産業	紙・パルプ等, 金属, 機械, 電気・電子機器, 情報通信
通貨	ユーロ
国民文化	－
参考	フィンランド基本情報(外務省)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(2/8)

1 - ②デジタルに関する組織及び施策等の概要

	名称	概要	拠点	ソース・サイト
組織	Digital and Population Data Services Agency	ITやデータ（人口統計データや個人情報など）管理を行う公共部門。また、公共部門のITシステムの開発や運用、データセンターの運用なども担う。	ヘルシンキ	・ 公式ホームページ
基盤	AVOINDATA.FI	フィンランド政府が保有するオープンデータポータルサイト。	-	・ 公式ホームページ

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(3/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –データ利活用

Plan & Strategy

事例

概要

- フィンランド政府は、政府機関や公共機関が保有するデータを、一般市民や企業など、誰でも自由に利用できるようにオープンデータポータル「AVOINDATA」を導入。

参考

- [AVOINDATA公式ホームページ](#)

取組
概要

※着手中含む

AVOINDATAで提供されているデータは以下のとおり。

- 公共交通機関の時刻表データ
 - 自治体の購入請求書データ
 - 統計データや地図情報
 - 建物や土地の情報
- など

上記データに加え、ユースケースも掲載されている。

参考

- [AVOINDATA公式ホームページ](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(4/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –行政サービスのデジタル化

■概要

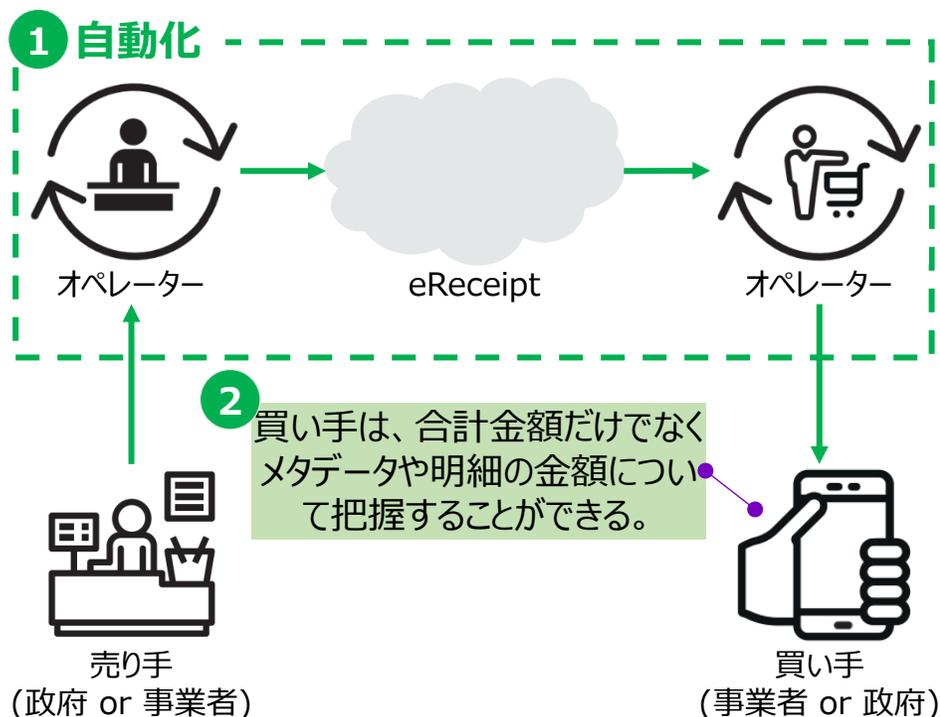
背景：フィンランド政府は**リアルタイムエコノミー**を目指して、世界でも早くからデジタルインボイス・レシートの導入を国が主導している。

目的：①自動化によるバックオフィス業務の効率化、②正確かつ詳細の購入履歴の電子化による納税履歴/カーボンフットプリントの把握。

成果：税金、水道料金などのG2Bサービスをデジタル化し、**B2Gのサービスの95%がデジタルインボイスに変換。**

所管部：フィンランド政府 財務省

デジタルインボイス導入イメージ(4隅モデル)



導入によるメリット

1 バックオフィス業務の効率化

1枚の紙のレシートをデータ入力するのにかかるコストは5-7ユーロ。フィンランドでは年間2億6千万のレシートが構造化されていない紙かPDF形式でやり取りされているため、データ入力にかかるコストは7-9億ユーロもかかっている。

2 納税、カーボンフットプリントなどの他分野での応用

明細やメタデータがリアルタイムかつ、正確にデジタル化されることで、取引を遡って把握することができる。これは、納税の管理やCO2の排出量に対する証跡など他分野でも管理を簡単にすることができる。

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(5/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –デジタルデバイス

Plan & Strategy

事例

概要

- DigiIN projectは、フィンランド保健福祉研究所(THL)やヘルシンキ大学など複数大学が協力して、以下3つの目的のため実用的なソリューションの作成や、情報を提供している。
 - 社会・医療分野におけるサービス文化の改革。
 - 全ての人により良い電子サービスを保証する。
 - 最も脆弱な人々の疎外を防ぐ。

参考

- [DigiIN公式ホームページ](#)

取組
概要

※着手中含む

参考

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(6/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –官民共創

Plan & Strategy

事例

概要

フィンランド政府は、より効率的な公共サービスを提供するために、官民パートナーシップの活用に焦点を当てた包括的なPPP戦略を導入している。

これには、環境社会影響評価（ESIA）、コンセッションによるプロジェクト資金調達モデル、政策立案者に指針を与える特別な法的枠組みなど、成功するパートナーシップの確立を奨励するための様々な手段を用いることが含まれる。

参考

- [公共調達を促進するための実践的措置 \(フィンランド政府\)](#)

取組概要

※着手中含む

- **コンペティションと表彰**:特定のテーマに関連したコンペティションを設定し、外部のリソースを活性化させ、可能な解決策を生み出す。
- **プロイノベーション公共調達**:調達の対象をその意図する効果によって説明することにより、イノベーションのためのスペースを作り、新しいソリューションの開発を活性化させる。
- **異議を申し立てる権利**:様々な主体が公共部門の業務手順の欠点を分析・指摘し、より機能的なサービスや手順を提案する機会を提供する。
- **情報公開**:公開された情報資源は、開発コミュニティに新しいサービスを開発するインセンティブを与え、その結果、公共部門自身の目標も達成される。
- **計画のオープン性**:長期的なサービスや運営に関する計画を公開することで、将来のニーズの全体像を把握し、それに対する投資や準備の猶予を与えることが可能。

参考

- [Partnershipについて\(フィンランド政府\)](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(7/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –新技術(AI・メタバース等)

Plan & Strategy

事例

概要

フィンランド政府は、AIの研究・開発を支援することを目的として国家的な人口知能(AI)プログラム AuroraAIを策定。

要点

上記プログラムは、様々な生活状況やイベントで、AIを活用して市民にパーソナライズされたサービスを提供することを目的としている。

目的を達成するために、異なるサービスやプラットフォーム間での情報交換と相互運用性を可能にする技術的な条件を作り出す。

参考

- ・ [国家人工知能プログラムAuroraAI\(フィンランド政府\)](#)

取組 概要

※着手中含む

- ・ **AuroraAIネットワークの構築**:社会のサービスの統合を促進するため、どんなサービスでもネットワークの機能を利用できるようなサービスインフラを形成。
- ・ **AuroraAI運用モデルの開発**:人間中心で倫理的に持続可能な方法で公的機関の活動の発展をサポートする運用モデルを開発。
- ・ **AIに関するスキル、理解、能力構築のためのプログラム提供**:公共部門のサービス開発者と調達者、公共部門の組織の管理者をターゲットとしてプログラムを提供。このプログラムは市民も閲覧可能。

参考

- ・ [国家人工知能プログラムAuroraAI\(フィンランド政府\)](#)

1-①. 重点分野リサーチ（11重点分野×31国・都市） 各国基礎調査及び、海外先進事例調査 ～フィンランド(8/8)

2.重点調査分野(11テーマ) –スマートシティ

Plan & Strategy

事例

概要

- フィンランドは、ヘルシンキを中心としてスマートシティの取組を積極的に行っており、複数のプロジェクトを実施。スマートシティ向けのソリューション開発及び試験運用するための環境を提供している。
- 主な都市開発プロジェクトは以下のとおり。
- Smart Otaniemi
 - Smart Kalasatama
 - Jätkäsaari Mobility Lab

参考

- [スマートシティについて\(Helsinki Partners\)](#)

取組概要

※着手中含む

- **Smart Otaniemi:** サステナビリティな都市ソリューションの為にイノベーション環境。サステナブルエネルギー、交通、建築などの領域において、スマートシティの実現に向けた研究、開発、実証実験を行う。
- **Smart Kalasatama:** スマートシティの実現を目指す都市開発プロジェクト。住民、企業、行政機関などステークホルダーが協力して、スマートシティ技術とイノベーションを活用したサステナビリティな都市開発を行う。スマート廃棄物管理、MaaS関連プロジェクトなどがある。
- **Jätkäsaari Mobility Lab(イノベーション促進のための研究施設):** 企業や研究者がヘルシンキの路上で実際のユーザーと一緒にスマート及びデジタルモビリティソリューションのテスト、開発を支援。

参考

- [Smart Otaniemi公式ホームページ](#)
- [Smart Kalasatama公式ホームページ](#)
- [Jätkäsaari Mobility Lab公式ホームページ](#)